

三、「説明的な文章」を使った問題

「説明的な文章」を素材として、文章の論理を理解し、内容を的確に押さえながら読んでいるかどうかをみる問題です。

全国学力・学習状況調査問題より

国語 A 2 説明的な文章の中に入る適切な言葉を選択する

(説明的な文章の内容を的確に押さえながら読む)

千葉県 83・2 秋田県 89・6 (マイナス6・4)

2

次は、坂本さんの町で五月の連休に行われる「農産物祭り」について書かれた文章の一部です。
ア ・ イ の中に入る言葉の組み合わせとして正しいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

今年も五月の連休に、県内各地の野菜や果物などを販売したり、それらを使った料理を紹介したりする「農産物祭り」が行われる。祭りの会場には、いろいろな店が出る。昨年は、四十の店が出た。今年は、六十の店が出る予定である。祭りに集まる人の数は、店の数に関係があるということが分かっている。店の数が多い年にはたくさんの方が集まり、少ない年にはあまり集まらない。

こうしたことから、今年の祭りに集まる人の数は、昨年集まった人の数よりも
ア ということが予想される。なぜなら、今年、店を出す予定の数は、昨年、店を出した数よりも
イ からだ。

- | | | | | |
|---|---|-------|---|-----|
| 1 | ア | 少なくなる | イ | 多い |
| 2 | ア | 多くなる | イ | 少ない |
| 3 | ア | 少なくなる | イ | 少ない |
| 4 | ア | 多くなる | イ | 多い |

(解答)

4

「説明的な文章」を使った問題

年

組

番氏名

一「エネルギー資源の消費とその影響」について書かれた次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一九七〇年代に二度の石油危機が起こり、原油価格が大きく上がったことによって、多くの物品の値段も上がりました。そのため、外国の石油にたよっていた日本のエネルギー消費は、大きく変化しました。高度経済成長を支えてきた輸出製品が、引き続き海外にたくさん売れるようにするため、製品の価格を **ア** ようにする必要があったので、工場でのエネルギーの節約を進め、エネルギー消費量の **イ** 組み立て工業などが増えていきました。また、省エネルギー型電化製品の開発も進み、わたしたちの家庭に広まってきました。日本では、このように **ウ** を進め、エネルギー消費量をおさえることに成功しました。

(1) 文章中の **ア** ・ **イ** の中に入る言葉の組み合わせとして正しいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

- | | | | | |
|---|---|------|---|-----|
| 1 | ア | 上げない | イ | 少ない |
| 2 | ア | 下げない | イ | 多い |
| 3 | ア | 上げない | イ | 多い |
| 4 | ア | 下げない | イ | 少ない |

答え

(2) 文章中の **ウ** に入ることをばを、文章中から八字で抜き出して書きなさい。

答え

「説明的な文章」を使った問題

年

組

番氏名

二 次の文章中の **ア** ・ **イ** ・ **ウ** の中に入る最もふさわしい言葉を書きなさい。なお、**ウ** は十字以内で書きなさい。

睡眠を導き出すのは、メラトニンというホルモンです。メラトニンは、暗くなってから脳内に増え始め、目覚めの前に減少します。このメラトニンを作り出すのが、セロトニンというホルモンです。セロトニンは、太陽のぼり始めると脳内に出始めます。だれでも、よく晴れた日に外で遊んだり、スポーツをしたりした日は、心地よくつかれ、いつもよりぐっすり眠れた経験があると思います。これは、太陽の光と運動により、脳内にセロトニンが大量に出され、それが睡眠を導き出すメラトニンを大量に作り出したからなのです。

セロトニンは睡眠中にはほとんど出ませんし、メラトニンが出る量は光に大きく影響され、夜間室内ほどの明るさでも、出る量が減少してしまうことがわかっています。

わたしたちが、毎日生き生きとした生活を送るためには、よりよい睡眠をとることが欠かせません。そこで、よりよい睡眠をとるために、**ア** というホルモンが体内にたくさん出るよう、昼間は太陽の光を浴びてスポーツなどをするよう心がけたいものです。また、**イ** というホルモンは、光を浴びることで出にくくなるので、夜は**ウ** するよう努めましょう。

答え

ア

イ

ウ

年

組

番

氏名

三 次（さんじ）の文章（ぶんしょう）は、弟子（でし）たちが孔子（こうし）の教え（おしえ）をまとめ（まと）めた『論語（ろんご）』という中国（ちゅうごく）の古い本（ほん）にのっている言葉（ことば）です。みなさんに人（ひと）としてどうあるべきか考（かんが）えてほしいことが書（か）かれています。この文章（ぶんしょう）を読んで、あとの問（と）いに答（こた）えなさい。

A

冉（ぜん）求（きゆう）曰（い）わく、「子（し）の道（みち）を説（よ）ぶるに非（あら）ず、力（ちから）た足（た）らざるなり。」

子（し）曰（い）わく、「力（ちから）の足（た）らざる者（もの）は中（ちゆうどう）道（みち）にして廢（はい）す。(ア)今（いま）、女（なんじ）は画（か）れり。」

〔雍也篇〕

【現代文】

「先生のおっしゃる道について学ぶのはとてもうれしいです。しかし、私には、先生のいう通りにするだけの実力がありません」と冉求（孔子の弟子）はいいました。すると孔子は「力の足りない人は進めるところまで進んでそこでやめればいいんです。しかし、あなたはいま、自分で自分に見限りをつけましたよね。問題なのは自分でそうやってしりごみをしてしまい、可能性を自分でつぶしてしまうことなのです。」と答えました。

B

憤（ふん）せざれば啓（けい）せず。

悱（ひ）せざれば発（はつ）せず。

一 隅（いちぐう）を挙（あ）げてこれに示（し）めし、

三 隅（さんぐう）を以（もつ）て反（か）えさざれば、

(イ) 則（すなわ）ち復（ま）たせざるなり。

〔述而篇〕

【現代文】

やる気がないようなら教えも導きもしません。答えがわかっているのに言葉が見つかからないでむずむずしているようでなければ「こういうことですよ」と教えてあげません。一つ例をあげたら、違う例をあげて聞き返してくるくらいでなければもう二度と指導しようとは思いません。

問一 (ア) 今女は画れり。(自分で自分に見限りをつけましたよね。問題なのは自分でそうやってしりごみをしてしまうことです。)とありますが、なぜ、それが問題なのですか。その理由を、三十字以上四十字以内で答えなさい。

問二 (イ) 則ち復たせざるなり。(もう二度と指導しようとは思いません。)とありますが、指導してもらえないのは、弟子がどのような状態のときですか。六文字を入れて、次の文を完成させなさい。

状態のとき。

問三 [A] [B] 二つの文章から共通して読み取れる内容として、最も適当なものを、次の①～⑤のうちか一つ選び、その番号の下の() に○をつけなさい。

- ① () () 自分の実力を知ることとは大切なことだということ。
- ② () () 人は、学びたいときに学ぶと力がつくということ。
- ③ () () 心をわくわくさせる何かを見つけたことでやる気が出るということ。
- ④ () () 自分から学ぶ姿勢がなければ何も身につかないということ。
- ⑤ () () 思いなやむ人は、すでに学びはじめているということ。

わたしたちのA町

町の位置	〇〇県の中央
土地利用	総面積の70%が森林
人口	10,516人 《男：5,140人／女：5,376人》
世帯数	3,964世帯
お城祭り	武者行列があり、お殿様や姫、武者などの衣装を身につけて下町を練り歩きます。小学生は武者隊やなぎなた隊になって歩きます。他には、たいこや琴の演奏もあり、子どもから大人までが参加できる楽しい行事です。
もみじ祭り	ハイキングや旧分校でそば打ち体験等や焼き芋、農産物の販売などがあり、地元の人だけでなく、観光客も多くにぎわいます。
鉄道	2両編成のローカル線に乗って美しい風景をながめることができます。
朝市	毎月5と10のつく日には、朝市があり、農産物などの販売があります。 (しょうかい者 中村 直子)

ぼくたちのA町しょうかい

ぼくたちのA町は、〇〇県のほぼ中央にあります。森林が総面積の70%をしめる緑に包まれた町です。町のキャッチフレーズは、「城と溪谷の町」で、お城の見える城下町です。昭和29年に5つの町村が一つの町になりました。町の世帯数は3,964で、人口10,516人です。自然が豊かなたすばらしい町です。

ぼくたちの町の大きな行事は、お城まつりともみじ祭りです。お城まつりは、もたいこや琴の演奏などがあります。何と言っても有名なのは、大人から子どもまでが参加する武者行列です。お殿様を先頭に、武者や姫の衣装を身につけたたくさんの方が参加して城下町を練り歩きます。ぼくたち小学生は、よろいかぶとを身に付けた武者隊やなぎなた姫隊の衣装を着て歩きます。昔の武将になった気持ちになって、みんな「エイエイオー。」と声を合わせて勝ちどきを上げると、沿道の観客の人たちが拍手をしてくれます。とても楽しい行事なので、みんな楽しみにしています。紅葉まつりでは、風景を楽しむハイキングや旧分校でのそば打ち体験や焼き芋、農産物の販売などがあり、地元の人だけでなく、観光客も多くにぎわいます。また、2両編成で走るローカル線があります。窓から春夏秋冬の美しい風景をながめることができます。

毎月5と10のつく日には、朝市があり、農産物などの販売があります。

(しょうかい者 三上 文夫)

四 中村さんの学級では、自分たちの住むA町についてたくさんの人に知ってもらうために、紹介文を書きました。次の二つの紹介文を読んで、あとの問いに答えなさい。

年

組

番

氏名

問一 二人の紹介文を読み、A町について紹介されていることを書きなさい。

(1) 町の特徴 ()

(2) 人口 () 人

(3) 大きな行事 () (と) ()

問二 この二つの紹介文は、それぞれどんなところがよいと思いますか。あなたの考えを、次の に書きなさい。

【三上さんの紹介文のよい点】

【中村さんの紹介文のよい点】

問三 二人の紹介文のどちらかに、もっとよい紹介文にするためのアドバイスをしてください。

あなたならどのようなアドバイスをしますか。アドバイスする相手を決めてから、アドバイスの内容を書きなさい。

【相手】

--

【アドバイスの内容】

(解答例)

一 (1) 1

(2) エネルギーの節約

二 ア セロトニン

イ メラトニン

ウ できるだけ早く就寝 (部屋を暗くして寝る)

三

問一

こ	可	つ	自
と	能	け	分
に	性	る	で
な	を	と	自
る	自	い	分
か	分	う	に
ら	で	こ	見
。	つ	と	限
	ぶ	は	り
	す	、	を

問二

や
る
気
が
あ
る

状態のとき。

問三

④ () ○ () 自分から学ぶ姿勢がなければ何も身につかないということ。

四

問一

(1) 町の位置 () ○○県の中央 ()

(2) 人口 () 一〇、五二六 () 人 ()

(3) 大きな行事 () お城祭り () と () もみじ祭り ()

問二

【三上さんの紹介文のよい点】

・お祭りの様子などがとてもくわしく書かれている。

・段落ごとに内容がまとまっているので分かりやすい。

【中村さんの紹介文のよい点】

- ・それぞれの項目について箇条書きで、分かりやすく書かれている。
- ・文章の量が適度で、すっきりしていて読みやすい。

問三

【相手】

- 三上さん
- 中村さん

【アドバイスの内容】

- (三上さん)一文が長いので、文を短くしたほうがよい。
- (中村さん)文末の書き方が統一されていないので、統一するとよい。

「説明的な文章」に関する問題

年

組

番氏

次の文章は、千葉さんが最近関心がある「方言と共通語」について、調べたことをもとに書いた文章です。この文章を読んであとの問いに答えなさい。

「方言」をさがしてみよう

〇〇小学校 千葉 花子

ア 昨今、テレビなどの影響もあって、ある地方でだけつかわれる言葉が注目を浴びました。ある地方でだけつかわれている言葉を「方言」といい、日本全国どこでも共通して用いられる言葉を「共通語」というそうです。

イ では「方言」には、どのような言葉があるでしょうか。

ウ たとえば、「こんにちは」のことを調べてみると、地方によって、「まいどさん」「ごきげんさん」「こんちゅらごわした」「だんだんどーも」などと言うことがわかりました。

エ 言葉そのものがちがうのではなく、アクセントの違いがある場合もあります。アクセントとは言葉のどこを高く発音し、どこを低く発音するかというきまりのことです。たとえば「秋」という言葉は東京、名古屋、広島では「あ」を高く発音しますが、京都や四国では「き」を高く発音するそうです。

オ 言葉やアクセントだけでなく、文末表現が異なる場合もあります。千葉県のある地方では、「〇〇です。」のことを、「〇〇だっぺ。」といった言い回しをすることがありますが、これも方言の一種です。

カ また、しっかりしてほしいときに千葉県や茨城県の一部の地域では「しみじみしなさい」と言う言い回しをしますが「しみじみ」を国語辞典で引いてみる「心に深く通じ合うものがある様子」書かれており、同じ言葉でも方言と共通語では使い方や意味が異なる場合があることがわかりました。

キ たとえば、ジャン（ではないか）ヤッパシ（やはり）といった言葉は、主に若い人たちの間で使われる方言で、年配の人の間ではあまり使われないようです。

ク 地方独特の言い回しには温かみや、親しみを感じる一方で、他の地方の人には通じにくいという欠点もあります。

ク また、地方色の強かった方言ですが、近年は交通網や情報網の発達により、その地方でだけ使われてきた言葉が広くつかわれるようになりました。言葉というのはまさに時代とともに生きて変化しているとも言えそうです。

ク では、方言と共通語はどのように使い分ければよいのでしょうか。その場合は共通語をテレビのニュースは日本全国のいろいろな人を対象としており、その場合は共通語を用いることが適切でしょう。しかし、同じ地方の友達と久しぶりにあったときに思わず飛び出す言葉は

A

でしよう。

このように、それぞれ場面や相手を考えて使い分けることが大事だといえます。みなさんの地方にはどのような方言がありますか。また、それを用いるのは主にどのような年代の人ですか。これを機にぜひ、身の回りの言葉について調べてみませんか。

また、同じ地方であっても、年代によって使われる言葉が異なる場合もあります。

【解答】

問一

①

ある地方にだけつかわれている

言葉

②

日本全国どこでも共通して用いられる

言葉

問二

秋

問三

①

地方独特の言い回しには温かみや、親しみを感じる

②

他の地方の人には通じにくい

問四

オ

問五

方言

問六

場面や相手を考えて

使い分ける

【解説】

本問題は、「共通語と方言の違いを理解し、また、必要に応じて共通語で話すこと。」に関連した内容です。「方言をさがしてみよう」という文章を読むことで「方言と共通語」の違いを理解し、それぞれにどのような特質とよさがあるのか理解していく内容になっています。文章を読み取っていけば解答を導き出すことができます。

問一は「方言」とは何か「共通語」とは何かを問題文から読み取っていく問題です。

問二は問一同様、問題文を読んで理解すれば例として出された言葉が「秋」であることはすぐ解読できます。

問三「方言」についての特質を読んで理解していく内容です。「よさ」と「欠点」について問題文から正確に読み取っていきます。

問四「たとえば」の言葉に着目し、何に対する例を示そうとしているのか考えれば解答が導き出せます。

問五 どのような場面で使うのがよいのか考えればできます。

問六 必要に応じて使い分けることの大事さを本文から読み取ることが大事です。